

<第5議案>

2023年度収支予算（案）

15 ページに 2023 年度収支予算案を示す。

<全体説明>

2023 年度は、常勤スタッフ 1 人、非常勤職員 1 人の 1.3 人体制を維持する予算とした。単年度収支での大きな赤字を減らすことに留意して、収入増と支出削減により、単年度で収支均衡を目指す予算とした。

1 収入の部

1.1 会費収入

22 年度決算（393 万円）に比して 32 万円の増額となる 425 万円を目標とする。新設の学生割引会員は 10 人、3 万円の収入をめざす。

1.2 事業収入

事業収入は 22 年度決算比約 21 万円の増額を見込む。

- 『ピース・アルマナック 2023』の販売収入は 140 万円を見込む。2022 年実績より 100 部の販売増が必要である。
- 「情報サービス・調査受託」収入として 22 年度決算と同じ 144 万円を見込む。

1.3 寄付金収入

一般寄付金は夏季、冬季を含めて 60 万円を目標に設定する。海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は 30 万円を見込む。

1.4 助成金収入

「よこはま夢ファンド」への助成金申請（財源は同ファンドへの市民からの寄付金）によって 250 万円の確保を目指す。

1.5 これらにより**収入合計**は 1,095 万円を見込む。

2 支出の部

2.1 事業費

22 年度決算比、給与約 73 万円減、協力研究員をとらないこと等により約 58 万円の減額を見込む。

- 『アルマナック』経費は印刷代 130 万円、外注費 10 万円の計 140 万円とする。
- 海外派遣経費は 8 月の第 11 回 N P T 再検討会議準備委員会（ウイーン）への計 30 万円を見込む。
- 「事業委託費」は、米軍関連の調査謝金（年約 15 万円）に当てる。
- 「事務委託費」として会計業務に 40 万円を当てる。
-

2.2 管理費

- 常勤スタッフ 1 人、非常勤職員 1 人の 1.3 人体制とし、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込む。
- その他費用は 22 年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

<次世代基金> 「脱軍備・平和基礎講座」費用を予算化した。

—以上